

» お客様とともに (顧客) Interview —お客様の声—

株式会社ニコン

1917年設立。日本を代表する光学機器・精密機器メーカー。「光利用技術」と「精密技術」を基礎とする、精機、映像、インストルメンツの3つの事業を中心に、多彩な技術・製品・サービスを展開されています。



熊谷製作所



精機カンパニー
半導体露光装置事業部
開発本部 第二開発部 第六開発課

左:主任研究員 蛭名 俊和様
中央:マネジャー 岡田 雅 様
右:主任研究員 合田 泰之様

半導体露光装置特有の特殊な仕様にも 真摯に対応してくれたことに感謝しています。

THKと取引されるようになったいきさつを教えてください。

私共の仕事は、半導体露光装置の設計・製造ですが、その半導体露光装置に使用する光学振動素子のダンパーとして、リニアガイドを探したことがきっかけでした。時期としては、ちょうど2000年頃からでしょうか。当時の同僚たちからTHKさんのリニアガイドには、非常に剛性の高い製品があり、工作機械の直動ガイドにおいてTHKさんが圧倒的なシェアを持っていると聞かされたことから、営業の方を紹介していただきました。

その後、照明光学系で切替機構が非常に増えたこともあり、最初のお付き合い以降は、LMガイドやボールねじ等、THKさんの製品をいろいろ使わせていただいています。

THK製品、THKという会社の
どのようなところを評価されていますか？

私共の所属する「精機カンパニー 半導体露光装置事業部」の開発・生産拠点は、埼玉県熊谷市にあるのですが、東京支店の方にご対応いただいています。相当の距離があるにもかかわらず、こまめに足を運んで丁寧に対応していただいていることは、強く印象に残っています。

また、半導体露光装置の照明系は、少しでも光に強弱のムラがあると微細なパターンの幅が狂ったりする非常に精密なものです。一方で、UVを照射すると硫酸アンモニウム、有機系シリコン等の

汚染物質がレンズに付着して曇ってしまうという問題があります。レンズが曇れば光にムラができてしまうので、ガイドにも通常のグリースや防錆剤が使えず、フッ素系グリースの使用と「ケミカルクリーン」という特殊な洗浄が必要です。こうした半導体露光装置特有の特殊な仕様にも、真摯に対応していただき、これまでに実現できなかったことを可能にしてもらう等、我々の厳しい要求に対しても、常にきちんと対応いただけるTHKさんは、信頼してお付き合いのできるパートナーだと思っています。



半導体露光装置 NSR-S622D

今後THKに期待することをお聞かせください。

今後は、双方の開発部門同士の交流を深めて、より強固なパートナーシップを築きたいと考えています。技術的には、さらなる薄肉化や小型化によって製品レパートリーが増えることを期待しますし、さまざまな組み合わせによる駆動機構の提案等もあると嬉しいですね。二社による水平分業のような形で、カスタム製品の治具設計や制御、製造の拡大等に対し、お互いの技術を持ち寄り等、これからもWIN-WINの関係を継続していきたいと思えます。